

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	半田市立つくし学園			
○保護者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	31
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもの見立てを児発管、担当保育士、公認心理師等多面的に行って個別支援計画を立案・実践しており、高い支援力がある。	日々の活動における事前の話し合いや振り返りを確実に丁寧に 行い、支援に活かしている。	子ども理解や、支援についての学習を重ね、根拠に基づいた 支援ができるようにする。
2	児童発達支援センターとして、地域のインクルージョンやスー パーバイズ・コンサルテーションをすすめ、巡回療育支援等を 通して直接・間接の支援をしている。	多職種のチームでの巡回や、セラピストの直接支援、または支 援の必要な子のスクリーニングなど、様々な観点で行ってい る。	地域の幼稚園・保育園の職員に、事業の意味や効果を理解し てもらえるような助言や対応ができるように、担当職員のス キルアップに取り組む。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の就労支援や、きょうだい支援など、保護者の要望に応 えきれていないところがある。	療育の主旨として根本にあることと、保護者の要望が噛み合っ ていない。 時代の変化に合わせた対応ができていない。	事業所の療育において大切にしていることと、保護者の要望 とがそれぞれ尊重される別の解決策を探していく。 家族支援について新しいアイデアを探る。
2	公立園故に、定期的な職員の異動があるため、知識や支援の向 上が継続していかない。	異動があるとしても、在籍期間中での学習も足りていない。	園内研修等で、サービスの仕組み等の知識を入れる。 異動のない、或いは長期間在籍できるような人員配置につい ての要望をする。
3			